

社協だより

— ふれあいで育てよう、ふくしの心 —

産山村社会福祉協議会

☎0967-23-9300

〒869-2703

産山村山鹿 488-3

「学園サロン風景」



視覚障がい者や聴覚障がい者に対しても、安全に配慮しながら誘導しました！



好きな遊びを話したり、クイズに答えてもらってコミュニケーションを楽しみました！



「箸もピンセットのようにつかめてこれなら手の不自由な方も使いやすい！」



「ペットボトルも、この補助具があれば開けやすいね！」

11月28日（火）、産山学園メディアセンターにおいて、子どもヘルパーの4〜7年生45名が地域の高齢者など20名を招き、産山学園サロンを開催しました。
今回は、学園生が自主的に高齢者に役に立つ企画を考え、認知症予防になる体操や身体

に不自由がある方でも楽に使える補助具を紹介したり、クイズなどを通してコミュニケーションを4年ぶりに対面による活動を実施することができ、参加者全員からたくさん笑顔が見られ大盛況となりました。

産山学園サロンを開催しました！

新年明けましておめでとーございませう。

旧年中は多くのご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。新年も心新たに地域の皆様と一緒に、福祉活動の充実に向けて取り組んでまいります。皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



「キツネだコンコン♪」ジェスチャーゲームで考えたり笑ったり、歌いながらリズムに合わせて肩を回したり手をたたく体操は認知症予防にもなります！



「感想 学 産山学園生 高 高齢者」

- 学 子どもヘルパー活動で学んだ人への接し方やおもてなしの心などを大切にしていきたい。
- 学 人に何かを伝える大切さ、人から何かを聞く大切さを知ることができた。
- 学 誰かのために考え、行動することをこれからも大切にしたい。
- 高 紹介された介助箸は園芸の仕事にも役に立つと思った。早速やってみよう。
- 高 なんとかお年寄りを助けてあげようという気持ちが嬉しかった。子ども達から励ましてくれる気持ちを受けて、私達も頑張ろうと思った。
- 高 1人っていると人と話すこともなくなる。好奇心をもって人と会うことが大切だと思った。ふれあうことで眠っていた脳が目覚めた。